

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公開番号】特開2006-39575(P2006-39575A)

【公開日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-006

【出願番号】特願2005-219753(P2005-219753)

【国際特許分類】

**G 1 0 L 15/22 (2006.01)**

**G 0 6 F 17/30 (2006.01)**

**G 1 0 L 15/00 (2006.01)**

**G 1 0 L 15/18 (2006.01)**

【F I】

G 1 0 L 3/00 5 7 1 U

G 0 6 F 17/30 2 1 0 D

G 0 6 F 17/30 3 1 0 Z

G 0 6 F 17/30 3 5 0 C

G 1 0 L 3/00 5 5 1 A

G 1 0 L 3/00 5 3 7 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月8日(2006.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

話し言葉を複数のカテゴリの少なくとも1つに分類する方法であって、  
前記話し言葉のテキストへの変換を取得するステップと、  
前記変換の1つまたは複数の単語に関連付けられた信頼性スコアを取得するステップと

、  
(i)前記話し言葉の前記変換の単語と前記少なくとも1つのカテゴリの単語との近似の程度、および(ii)前記信頼性スコアに基づいて、前記話し言葉を少なくとも1つのカテゴリに分類するステップと、を含む方法。

【請求項2】

前記近似の程度が、前記話し言葉のクエリ・ベクトル表示と前記複数のカテゴリのそれぞれとの間のコサイン類似度の大きさである、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記分類するステップが、基語のリスト、および前記基語が前記複数のカテゴリの特定の1つにルーティングされることの必要性に対応した可能性を備える基語リストを使用する、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記分類するステップが、前記複数のカテゴリのそれぞれに対してスコアを生成する工程をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記変換の1つまたは複数の単語に対する前記信頼性スコアが、前記話し言葉の各単語に対する信頼性スコアを含む、請求項1に記載の方法。

**【請求項 6】**

話し言葉を複数のカテゴリの少なくとも1つに分類するためのシステムであって、該システムは、

メモリと、

該メモリに結合された、前記話し言葉のテキストへの変換を取得し、

前記変換の1つまたは複数の単語に関連付けられた信頼性スコアを取得し、

(i) 前記話し言葉の前記変換の単語と前記少なくとも1つのカテゴリの単語との近似の程度、および(ii) 前記信頼性スコアに基づいて、前記話し言葉を少なくとも1つのカテゴリに分類するよう動作する、少なくとも1つのプロセッサとを備えるシステム。

**【請求項 7】**

前記近似の程度が、前記話し言葉のクエリ・ベクトル表示と前記複数のカテゴリのそれぞれとの間のコサイン類似度の大きさである、請求項6に記載のシステム。

**【請求項 8】**

前記プロセッサが、基語のリスト、および前記基語が前記複数のカテゴリの特定の1つにルーティングされることの必要性に対応した可能性を備える基語リストを使用するようにさらに構成されている、請求項6に記載のシステム。

**【請求項 9】**

前記プロセッサが、前記複数のカテゴリのそれぞれに対するスコアを生成するようさらに構成されている、請求項6に記載のシステム。

**【請求項 10】**

前記プロセッサが、前記複数のカテゴリの順序付きリストを生成するようさらに構成されている、請求項6に記載のシステム。